

# 論戦をリード

# 市民の願いを掲げ

# 市民の声を届けました

## 市民の願いが実現、そして前進

### 1 子ども1人に5万円支給

北九州市独自！子育て支援。  
低所得の子育て世帯およそ3万人が対象。

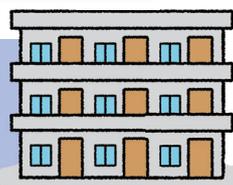


「物価が上がったので、1回のお米の量を減らしている」。食料品、ガソリン、電気代など生活全般にわたる物価高騰が、市民の暮らしを追い詰めています。  
市議団は全庁横断の物価高騰対策本部を設置し、事

業者や労働者の実態把握とともに、実態にかみ合った効果的な支援を要望。その中で、子育て支援として「子ども1人5万円の支給」、学生・市民への1000万円の食料支援などを実現してきました。

### 2 市営住宅問題

給付金など一時的な収入で家賃増の不安  
改装実施で増える空き家の活用を。



### 3 消防局などと懇談

巨過市場火災を受け、  
火災予防と消防施設強化へ。



FOR ONE MILLION SMILES

# 100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2022.11.1  
No.572

## 物価高騰から市民の暮らし守れ

31年ぶり消費者物価指数3%上昇  
 円安・ドル高などによって食料品や電気・ガソリン代の値上げが相次いでいます。食品の値上げ（予定含む）は年内に2万品目を突破（帝国データバンク調べ）。9月の消費者物価指数は前年の同月から3%上昇、消費税増税の影響を除くと、およそ31年ぶりの上げ幅となりました。



農家の方の声に耳を傾ける藤沢議員(右)

### 家計を直撃 食品の値上げ2万品目突破

米価暴落の一方で肥料高騰  
 肥料代などの高騰で経費が米の販売収入などを上回った農家も出ています。「経費のお金が足りないから持ってきてくれ」と農協から請求された農家も出ています。市民への支援は急務です。  
 市議団は今年5月25日、緊急経済対策（消費税の5%への引き下げとインボイス制度の導入中止、事業用燃油などの引き下げを政府に求めること、最低賃金の1500円への引き上げなど8項目）をすでに要望。9月議会では全庁横断の対策本部の設置と、実態把握と一体に効果的な支援を求めました。

# 誰のため、何のため？

いったい誰のための、何のための国葬か。教育の中立性は何のためにあるのか。円安・ドル高を作り出し、物価高騰を招いたのはだれか。統一協会と自民党の癒着やオリンピック疑惑の真相究明に背を向けたのはだれか。この問いかけに共産党北九州市議団は、9月議会を通じて市民とともに真剣に向き合ってきました。

## 安倍元首相の礼賛記事大量配布 教育の中立性に反する

KODOMO  
 読売新聞問題

安倍元首相を礼賛する記事を掲載した新聞（「読売 KODOMO 新聞」7月14日号）を、市内の小学校に大量配布したのは教育基本法に触れる重大問題一。

9月13日、市議会本会議で山内涼成議員が取り上げました。

この紙面は、安倍元首相への銃撃事件を受けて作成されたもので「アベノミクスや五輪招致」、「株価回復、消費税アップ」などの見出しを掲げ、安倍政治の礼賛に終始。市内だけで約2万5000部が学校を通じて小学生に配られました。



前川氏(左下)とリモート会議を行った市議団

この問題をめぐり市議団は、元文科省事務次官の前川喜平氏とオンラインで議論。前川氏は「安倍さんを礼賛するような内容で、非常に

### 前川・文科省元次官の見解示し追及



偏っている。教育基本法の政治的中立性の観点からも問題がある」「子どもたちに配るべきではなかった」と語りました。

この意見交換も踏まえ山内議員は、教育基本法第14条2項（「特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない」）に反する、ときびしく批判。「教育の政治的中立性が担保されたと思うか」「憲法感覚をもう一度考え直してほしい」と教育長に迫りました。

### 国葬問題

申し入れでは、テレビ、新聞各社の世論調査でも「国葬反対」が半数を超えていること、国葬の法的根拠もないこと、また立憲主義をないがしろにした「安保法制」の強行、辺野古新基地建設の推進、



憲法違反の「国葬」は中止を。日本共産党市議団は9月8日、北橋健治市長らに対し、安倍元首相の「国葬」中止を求める緊急の申し入れをしました。

### 憲法違反の国葬反対

### 共産党市議団が中止を申し入れ

加えて「森友、加計、桜」疑惑など、国政を私物化し政治をゆがめてきたことなどを列挙。



JR小倉駅前で市民団体も抗議行動

北九州市として、「国葬」を中止するよう政府に申し入れるとともに、市長として「国葬」に出席しないこと、職員、児童、生徒などに意見を強制しないことなどを求めました。しかし、北橋市長は参列し、世論に背を向けました。

## 宮古のエネルギー政策に学ぶ

市議団は岩手県宮古市のエネルギー・環境部長の滝沢肇氏を講師に、同市の「再生可能エネルギーの地産地消を実現する取り組み」について学びました（10月25日）。



宮古市の滝沢部長の話に聞き入る市議団メンバー

東日本大震災で死者517人、9088棟の家屋倒壊など大きな被害を受けた宮古市ですが、NHKの連ドラ「あまちゃん」(2013年)の舞台にもなりました。震災後、エネルギーの地産地消による自立的な地域経済の構築に挑戦。地域脱炭素を目指し、新たに洋上風力発電事業の導入に取り組んでいます。再エネと地域経済構築のカギは「市民と行政がともに立ち上がること」にあると滝沢氏は強調。永井議員は「学生も参加し、楽しい学習になった」、出口議員は「北九州市でもエネルギーの地産地消、地域経済の活性化に取り組みたい」と話しました。

9月議会	意見書・決議に対する 会派賛否	提出会派	日本共産党	自民党	無所属の会	公明党	ハートフル北九州	日本維新の会	結果
			8	18	13	11	3		
	旧統一協会と政治との深刻な癒着の一掃と被害の根絶を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	×	×	否決
	唐突な原発新增設方針を撤回し、再エネ、省エネで持続可能なエネルギーの構築を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	×	×	否決
	東京オリンピック・パラリンピック汚職の徹底解明を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	○	×	否決

### なぜ反対？

自民党  
 維新の会  
 公明党

共産党市議団が提出した、三つの意見書（統一協会との癒着一掃・被害根絶を求める、東京オリンピック・パラリンピックの汚職究明を求める、唐突な原発新增設方針の撤回を求める）に自民、公明、維新の会はすべて反対しました。その理由は何か。市民に説明すべきです。

# 市民の声を届けて

## 学校ウォッチング



▲花壇の土台が壊れている  
(小倉南区)

▼4階の窓ガラスが割れている  
(小倉南区)



▲交通標識が木の幹や枝で隠れている  
(八幡東区)

◀プールサイドの側溝が割れているなど危険な状態  
(小倉北区)



▲ドアの木材がささくれている  
(戸畑区)

「北九州市の公共施設を良くする会」(2008年4月発足)と市議団は8月23日、市内の通学路や校内環境の安全点検を行いました。今回の参加人数は50人でした。視察結果をまとめ、市教育委員会に改善要望を行うことにしています。

### 相談付き食料支援事業 1000万円を予算計上

## 困窮学生対策で永井議員が提案



物価高騰で苦しむ学生・市民に対し、相談支援付き食料支援事業として1000万円の補正予算が計上されました。永井議員は、神戸市や神奈川県座間

市の取り組みを紹介し、予算の拡充や周知の工夫をすべきと提案しました。

9月議会で北橋市長は「もっと十分なものを考えるべき」という意見は拝聴する。つながりを強化しながら、行政としてしっかり対応する」と答弁。保健福祉局長も「困窮する学生にも周知する。議員から提案された分、尊重していく」と答えました。食料支援の拡充は、永井議員が昨年議会から議会で取り上げていたものです。



### コロナ支援で前進

## 専用相談ダイヤル増設、感染時の対策リーフ発行

「保健所に何十回電話してもつながらない」。コロナ禍が広がる中、議会で伊藤議員が継続して取り上げていた「保健所のコロナ専用相談ダイヤル」について、市はこれまでの20回線を50回線と2.5倍化したことを9月議会で明らかにしました。伊藤議員は、8月21日時点で自宅療養者が2万1000人いることを指摘したうえで、電話がつながらず「不安な毎日を送っている」とし、相談体制の強化と保健所体制の強化を求めています。

また、市のコロナ対策情報について、「ネットの使い方がわからない」などの高齢者の声を受け、大石議員は、紙媒体による案内を要望。9月に実現し、「これだったらわかる」との声が寄せられています。

